

2016 1月

OIT Website
<http://www.oit.ac.jp>

およど

ひとことメッセージ

技術開発において、問題は与えられるものではなく、見つけるものだと言います。問題は何だろう？問題の本質を見つげられるような技術者を目指して、頑張ります。

情報科学部 情報システム科 教授
 河野 克己 (専攻：情報科学)



アイスホッケー部が I 部Bリーグに振り返り咲き!!



CONTENTS

- 新学長よりご挨拶 ②
- 学長表彰、工学部長表彰、知的財産研究科長表彰・学部長表彰 ③
- 学園祭報告 ④
城北祭・北山祭
- 薬物乱用防止講演会を実施 ⑥
- アイスホッケー部が I 部Bリーグに振り返り咲き!! ⑦
- OIT-NEWS 躍進する卒業生 ⑧



学長新任のご挨拶 ～西村泰志先生より～

大阪工業大学は、前身の関西工学専修学校が1922年に創立されて以来93年となります。その間、1996年に情報科学部、2003年に知的財産学部が増設されました。2017年には、梅田キャンパスにロボティクス&デザイン工学部（仮称）が増設されます。

本学は、建学の精神である「理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人の育成」を目標に教育・研究を推進してきました。そのような教育を受けた20年、30年ある

いは40年前の卒業生が、全国各地の様々な分野で活躍しています。このことが、「工大は就職に強い大学」と言われる所以の一つです。

我々は、この伝統を守って行く責務を負っています。20年、30年あるいは40年後に、工大が良い大学と言われるために、専門知識だけでなく、社会で活躍できる人間力の形成に一生懸命取り組む必要があると考えます。将来の皆さん、ひいては、工大の発展のために、全員で頑張りましょう。



淀川クリーンキャンペーンを開催しました ～淀川を守ろう～

10月17日、本学は大阪市旭区などと連携して「淀川クリーンキャンペーン」を開催しました。今回で開催10年目を迎えるこの取り組みは、「地域みんなで淀川・城北ワンドの環境をまもろう」をテーマに毎年開催しているもので、学生や教職員、地域住民など約800人が参加し、菅原城北大橋を中心に赤川鉄橋から豊里大橋までの範囲を約1時間にわたって清掃しました。

また、旭区主催の「防災・環境・にぎわいイベント」「城北公園ファミリーフェア」が同時開催され、約2000人が来場するなど非常に多くの地域住民が訪れ、クリーンキャンペーンにも参加いただきました。

キャンパスのそばを流れる淀川は本学の環境教育実践の場であり、隣接する城北ワンドは貴重な在来種である天然記念物のイタセンバラなどの貴重な生態系を守り育む場所



清掃活動の様子

です。旭区の素晴らしい自然環境を守るため、今後も地域と連携した取り組みを推進していきたいと思っております。



たくさんの方にご参加いただきました

枚方キャンパス冬の風物詩 ～イルミフェスタが華やかに開幕～

情報科学部の冬の風物詩、「イルミフェスタ2015」が12月8日にスタートし、その点灯式が同日昼休み時間に行われました。北山祭実行委員会が秋の学園祭後、エントランスにイルミネーションを飾りつけ準備してきました。

点灯式では、1階エントランス内にドローンが飛来し、中央部に設置された点灯スイッチを押すという趣向が凝らされました。ドローンは学生の周りを華やかなイルミネーションを

輝かせながら飛行したあと、ピタリとスイッチの上に着陸。するとエントランス内が光きらめく夢の空間へと変わりました。

華やかな点灯のあと、ウィンドアンサンブル部員による、ディズニーエレクトリカルパレードのテーマ曲の演奏が、一層クリスマスムードを盛り上げました。同部はこの後、12月22日にもエントランス内でクリスマスコンサートを行い、年末まで毎日開催されたイルミフェスタに華を添えました。



イルミフェスタ2015 点灯式

ベンチャーの聖地で知的財産を調査研究! ～米国インターンシップ～

サンフランシスコ・シリコンバレーでの知的財産インターンシップ・プログラムを、知的財産学部で初の国際PBLとして実施しました。2015年10月20日から28日の日程で、本学部の3年次2人、2年次2人が参加しました。モリソン・フォスター法律事務所でのレクチャーを受けたほか、連邦裁判所の見学やグーグル社、シスコ社、RPX社を訪問しました。全部英語で行われるレクチャーやヒアリング調査で緊張の連続でしたが、知的財

産活動の現場を見ることができて、とても充実したプログラムとなりました。現在問題となっているパテントロール問題についての現地の対策や、日本でも議論されている職務発明の取扱いの実態など、現地でないとなかなか実践的な現状を調査し帰国しました。また、12月8日に開催された報告会では、調査内容に分析を加えて報告しました。ベンチャー企業の聖地で、知的財産と英語の重要性を肌で感じたことと思います。



シリコンバレーにあるグーグル本社ゲート前にて

城北祭

10.23 金・24 土・25 日

大宮キャンパス

テーマ Dreamfes 2015

観客も楽しんだ
「のど自慢大会」

激しいぶつかり!
相撲大会

段ボールSLが来場者
をお出迎え

武道系クラブの祭典
「演武祭」

白熱の球技大会

体操部とくまモンが
コラボショー

ステージを盛り上げる
ストリートダンス部

軽音楽部のライブステージ

静電気実験で
ワクワク

熱気渦巻く
アーティストライブ

演武祭の締めを飾る
応援団

教室展示も充実

いざ将棋!

迫力のウインドアンサンブル

ここに掲載している他にも吉本お笑いライブ、アーティストライブ、声優トークショー、仮面ライダーライブショーなど多くのゲストを迎え、城北祭を盛り上げました。特に25日にはロックバンド「グッドモーニングアメリカ」の来場で多くのファンが訪れ、FM802の公開収録が行われるなど新たな企画もありました。また、学生たちは模擬店、お化け屋敷、ゲーム大会、ロボット展示発表、学術系クラブの研究発表など様々なイベント盛りだくさんで来場者を楽しませていました。

今回参加できなかった学生も来年はぜひ大学のお祭りを満喫しにきてください!

城北祭 2015 写真集

ステージイベントや教室展示など、工夫を凝らしたさまざまなイベントが行われました。

今年度の第67回城北祭では、16,400人という過去最高の来場者数を記録しました。ご来場いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。今年「Dreamfes 2015」というテーマのもと、テーマどおりの時間を過ごしてもらえようという一年間企画・運営を行ってきました。3日間を通して、子供、大人問わず来場者の皆様笑顔で楽しんでいただいているのを見て僕たち運営側もとても楽しい時間を過ごすことができました。

城北祭開催にあたり、ご指導、ご協力いただきました教職員の皆様、他団体、模擬店及び展示・ステージに参加いただいたクラブの皆様、地域の皆様、毎年応援してくださる来場者の皆様、そして城北祭実行委員会のメンバー、その他多くの皆様のおかげです。ありがとうございました。

来年度は、今年を越えてさらに最高の城北祭になるように委員会メンバー一同頑張りますのでよろしくお願い致します。



委員長 蓮田淑人(D3)

2015 年度大宮キャンパス学園祭 教室展示各賞審査結果

学術研究部門 (優秀な展示を行った団体)

- 学 長 賞 文化会 応用化学研究部
- 工 学 部 長 賞 文化会 電子工学研究部
- 知的財産学部長賞 文化会 建築文化研究部
- 後 援 会 会 長 賞 文化会 機械工学研究部

※後援会会長賞は後援会役員・委員の採点による

芸術系部門 (優秀な展示を行った団体・個人)

- 学 長 賞 文化会 鉄道研究部
- 学 生 部 長 賞 文化会 茶道部
- 文化会会長賞 文化会 美術部 徳田 睦巳(A2)
- 後 援 会 会 長 賞 文化会 美術部 三好 宏平(C2)

模擬店部門

- 城北祭実行委員長賞
- 天文学研究部
(みるくせんべい&たこせん)

※来場者からの人気投票による

体育会本部主催行事(球技大会)

- 優 勝 かたこJAPAN
- 準 優 勝 (株)波賀金属
- 3 位 キュウラース

体育会本部主催行事(相撲大会)

- 重量級優勝 杉之下雄斗(E4) 中量級優勝 中村 優希(P3) 軽量級優勝 堤 健人(C3)
- 重量級準優勝 藤野 稜太(C4) 中量級準優勝 寺田 一輝(K2) 軽量級準優勝 奥野 琢也(W1)
- 重量級3位 廣岡 宏一(W3) 中量級3位 四宮 洸一(M2) 軽量級3位 杉山 真貴(E3)



北山祭

11.3 火祝

枚方キャンパス

テーマ **咲** 絆

北山祭 2015 写真集

臨場感溢れるジョイントライブ!



今年もジャグリングで観客を大いに湧かせました!



秋晴れの下、爽やかな演奏が響きました♪

フリーマーケット!
今年もお宝は見つかりましたか?



お子様連れに大人気の
プログラミング体験教室



商売繁盛の模擬店!!

VAC×CNGIによる
クラブイベント!



子どもたちも夢中の
Oh!ITカーニバル



開祭の様子



吉本お笑いライブ!
今年も笑いの渦を巻き起こしました!

今年の北山祭は昨年度を超える、12,000人もの来場者数となり、大いに盛り上がりました。

前日はあいにくの雨で、当初は不安が募りましたが、本番当日は青空が晴れ渡り、今年度のテーマである「咲絆(さき)」のとおり、美しい花が咲いたように、大いに盛り上がった北山祭となりました。

北山祭を開催するにあたり、1年を通して準備を行い、大変なことも多く苦労しました。ですが、地域の皆様、ご来場者様、業者様、学校関係者様のご協力により無事第19回北山祭を開催することができ、大変うれしく思っており、また、深く御礼申し上げます。

来年度は第20回目の北山祭と節目の年になりますので、今年度を超える北山祭を目指します。ぜひ来年度も足をお運びください。

北山祭実行委員会 委員長
笹倉晃二 (IN2)

子どもも大人も夢中になったOh!ITカーニバル

「Oh!ITカーニバル」では、情報科学部の研究室やプロジェクト活動など44のブースが一堂に会し、来場者の皆さんに最新の研究成果や情報技術を体験していただきました。

小学生から高校生までを対象としたスタンプラリーも実施し、Oh!ITカーニバル会場は子どもから大人までたくさんの来場者で大にぎわいとなりました。また、企業の方からは、各ブースの発表技術が年々向上しており、今年度は特に技術が高かったとの評価もいただき、充実の研究室発表となりました。

そして、教員や後援会役員、枚方地域産業クラスター研究会の審査を経て、優秀な研究発表を行った研究室は閉祭式で表彰されました。受賞した研究室は右記のとおりです。

2015年度各賞受賞研究室

学 長 賞 ビークルコントロールシステム研究室(小松准教授)

学 部 長 賞 ネットワーキング研究室(島野准教授)

後 援 会 会 長 賞 図形情報処理研究室(小堀教授)

イノベーション大賞 インタラクションデザイン研究室(佐野教授)

薬物乱用防止講演会を実施

11月4日、大宮キャンパスで薬物乱用防止講演会を開催しました。近年、インターネットやスマートフォンの普及により、薬物の入手が容易になり、誘われる機会が増えている現状から、薬物の乱用を学生の身近なこととして捉える必要があります。薬物乱用を防止するには、正しい知識を学ぶことが重要であることから、昨年に引き続き、近畿厚生局麻薬取締部捜査第二課長の小牟田竜一氏を迎え、講演していただきました。

小牟田先生からは、薬物の種類や特徴に加えて、捜査現場の様子などのリアルな写真を見せながら説明され、特に薬物が人間の脳に大きなダメージを与えること、依存症や後遺症について強調されていました。会場に集まった140人の学生は、熱心に聞き入り、何があっても関わってはならない薬物の危険性や薬物依存症の恐ろしさについて再認識し、非常に有意義な講演会になりました。



真剣に受講する学生たち

留学生が大宮西小学校の児童と国際交流を行いました

外国人留学生で組織する留学生友好会が10月22日に、大阪市立大宮西小学校を訪問し、1年生と5年生の児童と交流を深めました。

本行事は同小学校の国際理解教育の一環として毎年実施しており、今年はサウジアラビア、ベトナム、インドネシア、台湾、中国から計7人の留学生が同小学校を訪問しました。留学生が講堂に入ると1年生の児童たちに拍手で出迎られました。留学生から自己紹介を行った後、児童と「じゃんけんゲーム」をして親睦を深めた後、7グループに分かれて母国の伝統料理や観光名所などをスマートフォンで説明し、初めて聞く話に児童は興味津々で耳を傾けていました。

休憩時間をはさんで、次は5年生が1年生

同様7グループに分かれて交流を図り、児童からは、「サウジアラビアはどこにありますか?」、「日本との時差は?」などひっきりなしに質問が飛び交う中、留学生は一つひとつの質問に笑顔で答えていました。

全プログラムを終え、初めて参加したインドネシア出身のシンタ・マシタ・シバユンさん

(U1)は、「参加してよかった。子どもたちに私たちの故郷を知ってもらえて嬉しかった。」と笑みを浮かべていました。無邪気な笑顔で接する児童に癒されたようで、留学生にとっても日本の子どもたちと交流する良い機会となりました。



笑顔で児童と交流を図るベトナム出身のツン君(A3)



スマートフォンを用いて説明するインドネシア出身のシンタさん(U1)

カウンセラーのひとり言

あなたの見ている「現実」は現実ではない、かも。カウンセラー 小山 智朗

皆さんは、映画「Beautiful Mind」を見たことがありますか? 舞台は1947年のアメリカ。主人公の数学科の大学院生ナッシュは、研究に没頭し、ついに画期的な理論を発見します。さらに憧れの研究所に採用され、愛する女性とも結婚します。まさに幸福の絶頂にいた時、政府から極秘任務を命じられ、物語は急展開していきます。さて、ナッシュの運命は?

この映画は、まずストーリーが見事で、観客の心を掴んで離しません。さらに心理学的にも興味深く、各々の視点によって「現実」は違う、ということを体験的に教えてくれます。

「そんなバカな!」「現実とは1つだ」って?本当にそうでしょうか。

例えば、反抗期の男の子には、誰が見ても優しくなお母さんでも、鬼のように見えるかもしれません。個人を越えた国家次元でも、領土問題や歴史的事象などで互いの「現実」を主張し合うのはよく起きています。

互いに自分の「現実」が正しいと主張し合うだけでは、不信感が募るばかりです。そうではなく、「現実」は見る視点によって違う、つまり自分の「現実」は絶対ではないことを知っている相手にはそう見えるのかも」と、他者に優しくなれますし、不毛な争いを避けられます。お薦め度☆☆☆☆☆

心理学アラカルト

「7」の不思議

カウンセラー 友尻 奈緒美

皆さんは、数字の「7」というと、どんなことを思い浮かべますか?お正月には「七福神」の宝船の絵を枕の下に入れておくと良い初夢が見られるといいますが、他にも「世界七不思議」「七つ道具」「七つ星」など、7という数を使った言い回しはよく聞かれます。また、7日を一週間とすることは、私たちの生活に根付いたものとなっています。

実は、心理学の短期記憶の実験で、人間が一度に記憶できる事柄の数は概ね5~9個、平均すると7個が限界であることが知られており、心理学者のジョージ・ミラーが1956年に「マジカルナンバー7±2」として発表しました^[注]。例えば、電話番号のようにラン

ダムに並んだ数字を順番に覚えようとすると、7桁ぐらいまでが限界です。つまり、数字のように単純なものでも、覚えられるのは最大で7個程なので、それよりも多い事柄を一度に把握するのは難しいといえます。

冒頭に挙げた言葉の例には、もちろんそれぞれに込められた意味がありますが、昔の人もこうした記憶の現象を感覚的に理解しながら、数を使っていったのかもしれないね。

[注]最近では、マジカルナンバーは「4±1」とする説も出ています。記憶する内容など、諸条件によって記憶できる数は変化しますので、一つの目安として考えてください。



アイスホッケー部が I 部Bリーグに**返り咲き!!**

体育会アイスホッケー部が11月7日に行われた、第62回関西学生アイスホッケーリーグ I 部B入替戦にてI部B5位の大阪大学を打ち破り、5季ぶりとなるI部B昇格を成し遂げました。

試合開始直後、両チーム共目まぐるしい攻防が続き、第一ピリオド終了間際、工大がカウンターチャンスを見事ものに先制点をあげました。その後、波に乗った工大は、各ピリオドに一点ずつ追加得点をあげ、徐々にゲームを支配していきました。大阪大学もI部の意地を見せようと、幾度となく工大ゴールに迫りますが、工大のDF陣が完全に防ぎ切り、3-0で勝利を収めました。

主将の小田崇旦君(A4)は、「今年度、新体制に変わったことをきっかけに練習メニューの見直しを行い、漫然と練習に取り組むのではなく、4年間という限られた時間で個人やチームが成長するためにはどうしたら良いのかを考えました。本当に必要な練習に注力するよう、部内の意識改革を行い、夜間の氷上練習や厳しいフィジカルトレーニングをチーム全体で乗り越えてきた結果がI部リーグ優勝、そしてI部Bリーグ昇格という成績に繋がったと強く感じています。」と、語ってくれました。

同部は、今回の成績に慢心することなく、次の目標である「I部Bリーグ優勝」に向かって走り出しています。来季、同部の更なる活躍で工大が盛り上がることは間違いありません。



I部Bリーグへの昇格を決め、喜びを爆発させる工大アイスホッケー部一同

文化会創立60周年記念式典

今年創立60周年を迎えた文化会が12月19日、常翔学園本部パーティー会場にて記念式典を開催しました。現役の文化会クラブ生をはじめ、文化会本部長OBや後援会、校友会および大学関係者を招いて約160人が出席し、60年の歴史と伝統を振り返りました。

式典開催にあたって、第60代文化会本部長三田幸宙君(R3)は、「文化会本部は今まで文化会を支えてきた先輩や大学関係者の方々に感謝しつつ、今後も文化会クラブの活動を全力でサポートし、文化会の繁栄に力を尽くしたい」と力強く語ってくれました。その後、第61代文化会本部員による挨拶が行われ、新たな活動に向けての意気込みが示されるとともに、クラブ・来賓を問わない交流が見られました。また、式典では応援団長の指揮によるコーラス部の大学歌斉唱やウインドアンサンブルによる演奏が行われ、会場を大いに盛り上げました。

なお、文化会では創立60周年記念誌の編集を進めており、間もなく発行される予定です。



「よいしょ」の掛け声と共に鏡開きを行いました



決意を新たにする第60代本部長三田君

「常翔学園3大学文化会課外活動団体交流会」を開催しました

11月21日、22日、広島国際大学東広島キャンパスにて、「常翔学園3大学文化会課外活動団体交流会」を開催しました。今年度は、総勢で22団体147名(大阪工業大学から10団体、摂南大学から6団体、広島国際大学から6団体)が参加しました。

21日に行われた懇親会では、3大学の学生が活動の近況や技術の向上などについて積極的に交流を深めることができました。22日には、講堂で3大学の音楽系クラブを中心に演奏・発表会を行い、ジャズやバンド、吹奏楽など、様々な音楽ジャンルを通じて会場を大いに盛り上げました。また、講堂ロビーの展示会場では、芸術系クラブによる作品展示が行われ、日頃の活動成果をアピールする良い機会となりました。

なお、常翔学園3大学の文化会・体育会の課外活動団体による交流は今後も行っていく予定です。ぜひご期待ください。



交流会後の集合写真

工大体育会本部が厚生労働大臣表彰を受賞しました

11月9日、献血運動を全国的な国民運動としてさらに推進・発展することを目的として、厚生労働省、大阪府、日本赤十字社主催で開催された「第51回献血運動推進全国大会」において、本学体育会本部が大阪府知事の推薦を受け、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

本学体育会本部の恒例行事である学内献血(年間2回)の多年にわたる献血事業への功績が認められ、全国の厚生労働大臣表彰状贈呈団体である94団体と個人の方々を代表し、本学体育会本部副部長の石井康貴君

(M4)が厚生労働大臣表彰状を舞台上で受領しました。

大宮キャンパスで体育会本部が主催している学内献血では、今年度も課外活動団体に所属している学生を中心に多くの学生が献血に協力してくれました。

副本部長の石井君は、「体育会本部の先輩方が繋いでくださった献血というバトンを次の世代に繋ぎ、社会に貢献できるよう努力していきたいです。」と、今後の意気込みを語ってくれました。



表彰団体を代表し受賞した同本部副部長の石井君

躍進する卒業生 ～本学卒業生棚橋修司さんが「第41回社会人野球日本選手権」に出場!～

2012年度に本学知的財産学部を卒業した棚橋修司さん(25歳)が、昨秋京セラドーム大阪で開催された「第41回社会人野球日本選手権大会」に出場を果たしました。結果は準決勝で優勝した日本生命に当たり惜敗しましたが、社会人野球日本一を決定するアマチュア野球最高峰の大会で、棚橋さんがエースとして率いる“伯和ビクトリーズ”は、最後まで堂々と善戦しました。

彼が本学硬式野球部に在籍していた2009年当時の同部はII部に低迷していましたが、同年秋季にI部へ振り返り咲き。2012年の春季リーグ戦では、常勝奈良産業大学〔現奈良学園大学〕を相手に6安打9奪三振1失点と、見事、優勝を阻む活躍を見せてくれました。この時の頑張り、昨年2季連続2位を収めた本学硬式野球部部員に“OITスピリット”として受け継がれています。今後、本学野球部員は、先輩棚橋さんを最高のお手本として神宮出場のため精進することを期待します。



力投する棚橋さん

常翔ウェルフェア★ニュース

くつろぎカフェ ルラーシュへようこそ!!

店内一面に広がる窓からは、大阪市街・淀川・北摂山地が一望できます。柔らかな太陽の光が差し込む空間の中、おひとりでおひとり、お友達や大切な人と楽しくお過ごし下さい。

ルラーシュのおすすめは、有名専門店より仕入れた生地を使った焼き立てパン、薫り高い本格コーヒー、自家製スイーツも楽しめます。

そのほかにもサラダや日替わりスープ、ソフトドリンク等のメニューを用意していますのでぜひお越し下さい。スタッフ一同お待ちしております。



場 所：6号館15階

営業時間：月～金 10:30～17:00(ラストオーダー16:30)



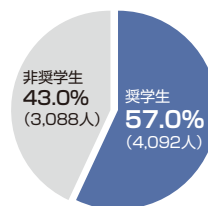
奨学金 NEWS

前号では、奨学金の歴史に触れましたが、今回は、奨学金そのものについて紹介します。そもそも奨学金とは、意欲と能力があって、なによりも学ぶ姿勢のある学生が経済的理由により、学びを断念することなく、安心して取り組むことができる不可欠な仕組みです。これら学びを支援するための奨学金の種類は、多くの学生が利用する日本学生支援機構の奨学金で、卒業後は返還義務のある「借りる奨学金」と、各大学が主体的に、例えば成績優秀者等の基準を設けて、学費の全額や半額などを給付する「もらう奨学金」が存在しています。

今回は「借りる奨学金」である日本学生支援機構について、本学の現状を紹介します。まず、全国規模でみると、全大学の学生数約280万5千人の40%を占める111万2千人(平成26年度末)の学生が利用しています。

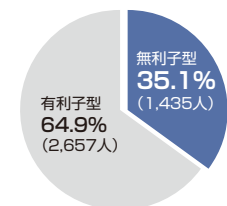
一方、本学では以下のグラフに示されているとおり全国規模を超えるたくさんの学生が利用していることが分かります。今後、奨学金を希望する方は、自分の目的や成績、将来の返済計画などをよく考えて自分に合う奨学金を見つけましょう。

全在学生の**57%**が奨学生
全学生数 7,180人(11月1日時点)



※日本学生支援機構に限定

約35%が無利子型を利用
本学の全貸与者数 4,092人(11月1日時点)



※日本学生支援機構に限定

工大流就職支援

3月1日からいよいよ就職活動が解禁となる。ナビサイトがオープンし、全国の学生が一斉にエントリーを開始する日である。間もなく就職活動を開始する3年次・大学院1年次は、学内の就職ガイダンスで何度も聞いておき、就職活動の勝敗は、解禁日までにはいかに準備をしておくかであり、準備をしっかりと行った人とそうでない人とは、その後に大きな差が出てくる。言い換えれば、就職活動で苦戦する学生は共通して、必要な時期に必要なことをしなかったためにスタートが遅れた人である。

エントリーの受付が開始されると同時に、企業側はエントリーシートの提出を求めてくる。エントリーシートは自由記述欄が多いため、あらかじめ十分に自己分析・業界分析を行い準備していなければ書くこ

就職 NEWS Vol.23

とができない。準備不足の場合、結果的にどんどんスタートが遅れ、“いつのまにか志望企業のエントリー受付が終了していた”ということにもなりかねない。さらには、これら書類選考や筆記試験に合格しなければ、どれほど人物がよくても次の面接試験に臨むことができないのである。

就職部では、就職活動の解禁日に、学生全員が『準備万端』でスタートラインに立てるよう、工大流就職支援の核である“Face to Face”の支援を全力で展開している。就職活動における質問や相談など、どんな内容でもいいので、何かあればすぐに就職部を訪ねてほしい。いつでも就職部スタッフが待っているぞ。